

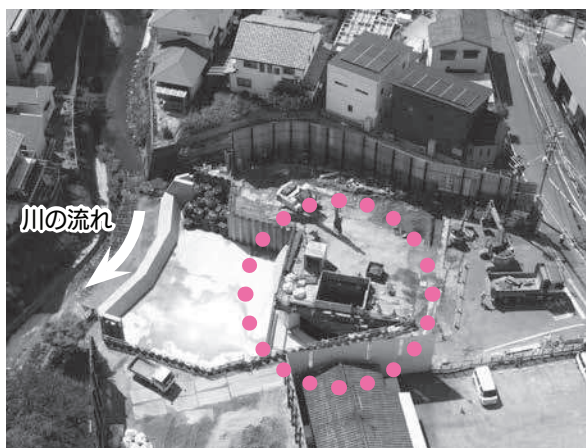
高尾川地下河川築造工事 暫定運用を開始しています

県が進める高尾川床上浸水対策特別緊急事業の主要事業「高尾川地下河川築造工事」は約1キロメートルにわたる地下河川が3月中旬に貫通。平成30年8月の発進式以降、トンネルの掘削を続けてきたシールドマシンは解体しました。

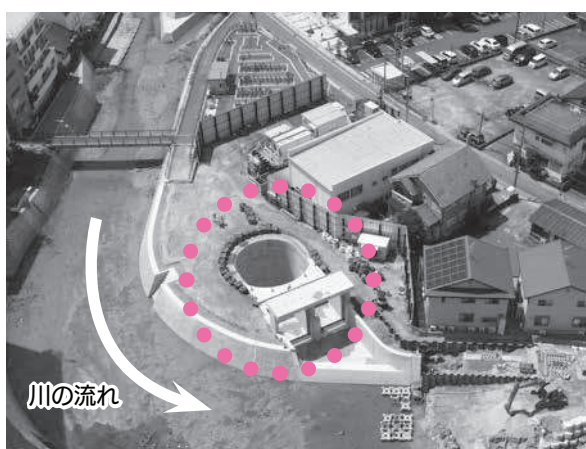
5月には地下河川と高尾川（流入部）、鷺田川（流出部）がつながり、6月から浸水被害軽減のため、暫定

的に運用を開始しています。出水期を過ぎると、トンネルの強度を高める二次覆工などを行う予定です。また、併せて工事を行っている高

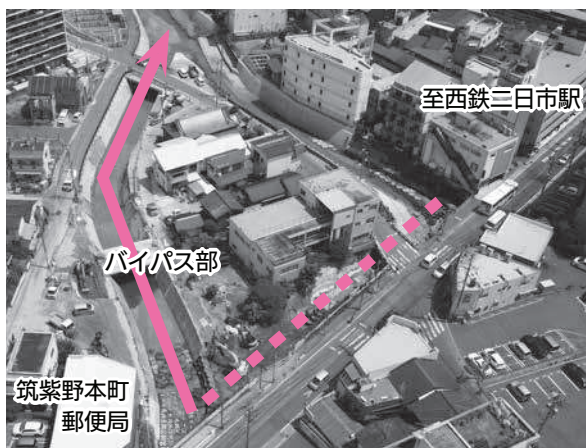
尾川・鷺田川の河川改修では、鷺田川が高尾川と合流する箇所を変更するバイパス工事を行いました。鷺田川がバイパス部を流れることになったことで幅が広くなり、さらなる浸水被害軽減が期待できます。



地下河川の流入部。高尾川が増水すると堤防を越え、トンネルに流入します

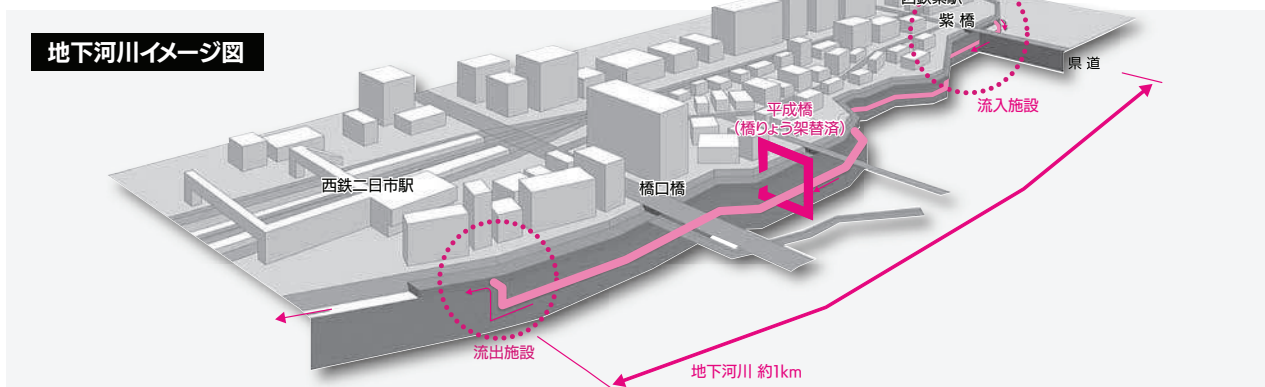


地下河川の流出部。トンネルを流れてきた水が鷺田川に排出されます



点線部を流れて高尾川に合流していた鷺田川が、バイパス河川に切り替わりました

高尾川床上浸水対策特別緊急事業とは
平成26年8月22日の豪雨により二日市地域で浸水被害が多数発生しました。これを契機に、福岡県那珂県土整備事務所が流域の浸水対策を進めています。
増水した水を流すトンネルを高尾川の地下に作る「高尾川地下河川築造工事」を中心に、流域の安全安心のため、早期完成を目指して工事を行っています。



7月1日から レジ袋有料化がスタート

全国でプラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化が始まります。

プラスチックは、その成形しやすさ、軽くて丈夫な性質から、レジ袋や容器包装、ペットボトルなどの使い捨てプラスチックの他、あらゆる分野で使用され、私たちに必要不可欠な存在となっています。

●プラスチックごみ問題

日本は、レジ袋を国民1人が1日1枚消費していると言われるほどプラスチックに依存した国です。レジ袋を含む使い捨てプラスチック製品をこのまま使い続けると、海洋汚染や、焼却による地球温暖化などが深刻化する可能性があります。

特に、海洋汚染は世界的な問題になっています。川や海に捨てられたプラスチックが細かく砕け、魚などが飲み込み蓄積することで死んでしまったり、その魚を人が食べることで、有害な化学成分や添加物を体内に取り込んでしまうなど、多くの悪影響をもたらす危険があります。



●変わるプラスチックとの付き合い方

有料化で、普段何気なくもらっているレジ袋が本場に必要か、ライフスタイルを見直し、使い捨てプラスチックの使用を減らすきっかけになることが期待されます。

買い物の際はエコバッグを持ち歩く、不要な袋は断るなど、できるところからプラスチックを賢く使う工夫を始めましょう。

●レジ袋有料化の情報は

環境経済省ホームページをご確認ください。



●レジ袋有料化に関する相談窓口

(経済産業省)

▽消費者向け

☎0570(080)180

▽事業者向け

☎0570(000)930

●問い合わせ先 環境課

新型コロナウイルス感染予防のため 中止する主なイベント

現時点で中止が決定している市の主なイベントをお知らせします。

掲載したイベント以外で中止が決定しているもの、今後の状況により中止・延期を決定するものなど、最新情報はホームページでご確認ください。

	イベント	問い合わせ先
6月	筑紫野市同和問題講演会	教育政策課
7月	筑紫野市民水泳大会	文化・スポーツ振興課 スポーツ振興担当 ☎(925)4802
9月	宝満川カヌー大会in美咲	美咲隣保館 ☎(926)4136

ホームページに支援情報などを掲載しています

市・県・国、その他の機関の支援情報を掲載しています。SNSでも随時情報を発信しています。

●筑紫野市ホームページ

<https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>



フェイスブック



ツイッター



LINE公式アカウント

